

専門分野を生かした職務関連の社会貢献等について

Other Relative Activities

1. 講義

齋藤嘉朗, 「国立研究機関におけるレギュラトリーサイエンス」, 慶應義塾大学薬学部 (2023.7.11)

齋藤嘉朗, 「ゲノム薬理学の最前線」, 北里大学大学院薬学研究科 (2023.10.17)

齋藤嘉朗, 「医薬品の製造販売後の安全性確保に関する行政施策と医療情報データベースを用いた研究」, 東北大学薬学部 (2023.12.25)

吉田寛幸, 「生物学的同等性とBCSに基づくバイオウエーバー」, 慶應義塾大学 (2023.6.28)

吉田寛幸, 「Evaluation method for Inhalations」, 星薬科大学 (2023.7.10)

吉田寛幸, 「Generic drug products and Bioequivalence」, 星薬科大学 (2023.7.10)

吉田寛幸, 「医薬品の品質保証とジェネリック医薬品」, 令和5年度国立保健医療科学院 院外研修プログラム (2023.10.24)

小出達夫, 「医薬品の安定性」, 医薬品医療機器の品質確保に関する研修 (2023.5.23)

坂本知昭, 「品質管理概論」, 医薬品医療機器の品質確保に関する研修コース講義 (2023.5.26)

坂本知昭, 「品質リスクマネジメントとバリデーション品質リスクマネジメント (改訂版) について」, 東京理科大学薬学部医療薬学教育研究支援センター GMP教育訓練コース 2023年度GMP対応マネジメント講座 (2023.8.4)

阿部康弘, 「医薬品の品質確保に向けた取り組みと高機能性製剤の品質評価」, 大阪大学大学院薬学研究科レギュラトリーサイエンス特別講義 (2023.7.7)

柴田寛子, 「抗体医薬品の品質・安全性」, 立命館大学薬学部創薬科学科 (2023.5.19)

石井明子, 「バイオ医薬品の研究開発とレギュラトリーサイエンス」, 高崎健康福祉大学薬学部 (2023.6.7)

石井明子, 「バイオ医薬品の品質安全性確保」, 大阪大学大学院薬学研究科 (2023.7.28)

木吉真人, 「抗体医薬品の魅力と品質評価」, 鹿児島大学大学院理学部 (2023.9.14, 15)

丸山卓郎, 「生薬の品質の規格化と公定書」, 富山大学大学院特論講義on-demand (2024.4.11-6.3)

伊藤美千穂, 「生薬・漢方製剤等の品質確保について」, 国立保健医療科学院令和5年度医薬品医療機器の品質確保に関する研修 (2023.5.26)

伊藤美千穂, 「漢方製剤等のレギュレーション (一般用と医療用)」, 富山大学大学院講義 (2023.7.2)

伊藤美千穂, 「天然物医薬品のレギュラトリーサイエンスー化学薬品との異同を中心にー」, 令和5年度大阪大学国際共創大学院学位プログラム推進機構卓越大学院生命医科学の社会実装教育プログラム (2023.7.7)

伊藤美千穂, 「天然物医薬品の特性と品質保証」, 令和5年度大阪大学連携大学院講義 (2023.7.21)

Ito M, 「Division of Pharmacognosy, Phytochemistry and Narcotics」, JICA課題別研修講義 (2023.7.31)

丸山卓郎, 「生薬の修治」, 漢方薬・生薬認定薬剤師研修講義 (2023.10.15)

安田智, 「Quality and safety assessment of cell therapy products for regenerative medicine」, 名古屋市立大学大学院薬学研究科創薬生命科学特別講義 (2023.4.12)

安田智, 「再生医療・細胞治療に用いられる細胞加工製品の品質の確保」, 2023年度バイオ医薬品等に関する品質関連研究講座 (2024.2.1)

安田智, 「細胞加工製品の品質・安全性の考え方」, 国立感染症研究所検定・検査教育講習会 (2024.2.15)

井上貴雄, 「核酸医薬ーRNAを標的とする新しいくすりー」, 東北大学薬学部薬学研究科 臨床薬剤学講義 (2023.5.10)

吉田徳幸, 「核酸医薬品の開発動向と安全性確保に向け

た取り組み」, 東京大学大学院薬学系研究科 大学院講義
基礎薬科学特論Ⅱ (2023.6.6)

井上貴雄, 「核酸医薬 - RNAを標的とする新しいくすり-」, 大阪大学大学院薬学研究科 レギュラトリーサイ
エンス特別講義 (2023.6.30)

井上貴雄, 「新型コロナウイルス感染症パンデミック時の
緊急対応: mRNAワクチンと核酸増幅検査薬に関する
取り組み」, 令和5年度 大阪大学国際共創大学院学位
プログラム推進機構卓越大学院「生命医科学の社会実装
教育プログラム」見学会 (2023.7.7)

井上貴雄, 「核酸医薬の現状と展望」, 東京理科大学大学
院薬学研究科薬科学専攻 基礎天然物薬品学特論M講義
(2023.9.29)

内田恵理子, 「遺伝子治療概論」, 横浜市立大学大学院生
命医科学特別講義 (2023.12.1)

山本栄一, 「医療機器安全学」, 大阪大学薬学部
(2023.6.23)

山本栄一, 「個別化製剤概論: 医薬品分析技術と物性解
析」, 昭和大学薬学部 (2024.1.25)

野村祐介, 「医療機器・材料の安全性の研究における物
理化学」, 千葉工業大学 生物物理学2 (2023.11.22)

宮島敦子, 「医療機器の生物学的安全性の評価方法につ
いて」 東京医科歯科大学 医歯薬産業技術特論
(2023.10.31)

植松美幸, 「臓器工学特論」, 早稲田大学理工学術院創造
理工学研究科 (2023.12.4, 2024.1.15, 2024.1.22)

迫田秀行, 「医療機器の評価」, 国立大学法人長岡技術
科学大学 機械工学特論 (2023.6.16)

坪子侑佑, 「Bioengineering」, 早稲田大学理工学術院創
造理工学部英語学位プログラム (2024.1.12, 2024.1.19,
2024.1.26)

内山奈穂子, 「単味生薬エキス製剤の開発に資する承認
基準及び公定規格について」, 富山大学大学院・医薬理
工学環オンデマンド講義 (2023.4.13 - 6.13)

秋山卓美, 「化粧品の規制と品質保証」, 富山大学大学
院・医薬理工学環オンデマンド講義 (2023.4.13 - 6.13)

河上強志, 「衛生化学Ⅰ 家庭用品の安全性に関する法
規制等と実際の健康被害事例について」, 名城大学薬学
部 (2023.6.30)

酒井信夫, 「厚生労働省の研究者の仕事 中学生のため
のレギュラトリーサイエンス講座」, 世田谷区立用賀中学
校キャリア教育講演 (2023.12.9)

内山奈穂子, 「【食薬区分, 指定成分, (機能性表示食品)】
食品等に関わる規制について」, 東京農工大学工学部生
命工学科 (2024.1.10)

田口貴章, 「食品に残留する農薬等の規制とその試験法
について」, 国立保健医療科学院令和5年度短期研修 食
肉衛生検査研修 (2023.6.23)

山崎由貴, 「オランダへの研究留学」, 立命館大学
(2023.7.4)

堤智昭, 「レギュラトリーサイエンスと食品中の有害物
質のリスク管理」, 立命館大学薬学部 レギュラトリー
サイエンス概論 (2023.7.5)

根本了, 「GC/MSの原理と食品の分析」, 千葉県立保健
医療大学 (2023.7.26)

堤智昭, 「食品に含まれる有害物質に対する安全確保の
取り組み」, 大阪大学大学院薬学研究科 レギュラト
リーサイエンス特別講義 (2023.8.4)

鈴木美成, 「レギュラトリーサイエンス概論」, 星薬科大
学薬学部 (2023.10.25)

中村公亮, 「微生物のバイオテクノロジー」, 千葉県立保
健医療大学 (2023.12.18)

鈴木美成, 「衛生薬学ⅡB」, 千葉大学薬学部 (2023.12.25)

堤智昭, 「レギュラトリーサイエンスと食品中の有害物
質のリスク管理」, 千葉大学薬学部 (2023.1.15)

中村公亮, 「食品・医薬品開発工学」, 東京農工大学
(2024.1.17)

多田敦子,「添加物の規格Ⅱ」,一般財団法人日本食品添加物協会 令和5年度食品衛生管理者登録講習会 (2023.2.15~7.14, eラーニング)

多田敦子,「食品加工学実習:食品添加物,実習 食品添加物(増粘安定剤)を応用した食品加工(観賞用)」,千葉県立保健医療大学 (2023.12.7)

多田敦子,「衛生薬学Ⅰ:食品添加物」,千葉大学 (2024.1.16)

久保田浩樹,「分析法概論Ⅰ」,一般財団法人日本食品添加物協会 令和5年度食品衛生管理者登録講習会 (2023.2.15~7.14, eラーニング)

久保田浩樹,「食品加工学実習:食品添加物,実習 食品添加物(増粘安定剤)を応用した食品加工(観賞用)」,千葉県立保健医療大学 (2023.12.7)

建部千絵,「分析法概論Ⅱ」,一般財団法人日本食品添加物協会 令和5年度食品衛生管理者登録講習会 (2023.2.15~7.14, eラーニング)

阿部裕,「レギュラトリーサイエンス 食品用器具・容器包装,洗浄剤,乳幼児用玩具の安全性・規格基準に関して」,東京農工大学 (2023.10.19)

阿部裕,「食品添加物論 食品用器具・容器包装,乳幼児用玩具,洗浄剤」,日本大学 (2023.10.20)

西崎雄三,「食品添加物概論」,東洋大学 (2023.9.30~2024.1.20)

西崎雄三,「レギュラトリーサイエンス 食品添加物の規制と実態」,東京農工大学 (2023.12.21)

杉本直樹,「添加物の規格Ⅲ」,一般財団法人日本食品添加物協会 令和5年度食品衛生管理者登録講習会 (2023.2.15~7.14, eラーニング)

六鹿元雄,「添加物の規格Ⅳ」,一般財団法人日本食品添加物協会 令和5年度食品衛生管理者登録講習会 (2023.2.15~7.14, eラーニング)

六鹿元雄,「食品用器具・容器包装の規格の作成および試験,検査ならびに分析法等の研究」,岩手大学 (2023.9.26)

上間匡,「E型肝炎」,国立保健医療科学院令和5年度食肉衛生検査研修 (2023.6.29)

上間匡,「ウイルス性食中毒」,国立保健医療科学院令和5年度食品衛生危機管理研修 (2023.9.29)

岡田由美子,「リステリアによる食品汚染と食中毒」,国立保健医療科学院令和5年度食肉衛生検査研修 (2023.6.16)

百瀬愛佳,「ボツリヌス症について」,国立保健医療科学院令和5年度食品衛生危機管理研修 (2023.9.28)

遠矢真理,「獣医細菌学ビブリオ目など」,東京大学農学生命科学研究科獣医学専攻 (2023.12.8)

遠矢真理,「獣医細菌学Mycoplasma, Chlamydia」,東京大学農学生命科学研究科獣医学専攻 (2024.1.19)

大城直雅,「マリントキシンによる食中毒」,国立保健医療科学院令和5年度短期研修食品衛生危機管理研修 (2023.10.4)

大屋賢司,「微生物管理と試験法」,国立保健医療科学院令和5年度短期研修医薬品医療機器の品質確保に関する研修 (2023.5.30)

吉成知也,「食品中に混入するカビ毒の健康への影響と検査法について」,麻布大学食品生命科学研究科講義食品安全学Ⅱ (2023.6.26)

渡辺麻衣子,「食品・環境に分布する真菌とその検査」,令和5年度岩手大学農学部食品衛生学実習 (2023.7.11)

渡辺麻衣子,「食品真菌の検査と制御」,国立保健医療科学院・令和5年度短期研修食品衛生危機管理研修 (2023.9.27)

渡辺麻衣子,「動物衛生学実習」,東京農工大学農学部・共同獣医学科動物衛生学実習 (2023.11.15, 11.29, 12.6, 12.13, 12.20)

出水庸介,「次世代型中分子ペプチド医薬品の開発と規制の動向」,長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 (2023.12.25)

出水庸介,「多様なモデルティを活用した創薬研究」東

邦大学大学院薬学研究科 (2023.10.5)

出水庸介, 「多様なモダリティを活用した創薬研究」 広島大学大学院医系科学研究科 (2023.5.26)

出水庸介, 「有機化学を基盤とした創薬へのアプローチ」 横浜市立大学理学部 (2023.4.17)

正田卓司, 「研究留学について」, 慶應義塾大学薬学部講義 (2023.4.11)

正田卓司, 「レギュラトリーサイエンスの活性化と進歩に貢献できる有機化学研究」, 神戸薬科大学薬学部講義 (2023.5.24)

正田卓司, 「レギュラトリーサイエンスの活性化と進歩に貢献できる有機化学研究」, 日本大学生物資源学部講義 (2023.7.31)

曾我慶介, 「バイオテクノロジー応用食品の安全性」, 麻布大学生命・環境科学部食品生命科学科 食品安全学Ⅱ (2023.6.12)

爲廣紀正, 「食品安全のリスク評価について」, 麻布大学生命・環境科学部食品生命科学科 食品安全学Ⅱ (2023.6.19)

曾我慶介, 「バイオテクノロジー応用食品の安全性」, 岩手大学農学部 食品安全管理学 (2023.9.25)

Shibata N. "Risk assessment and management of genetically modified (GM) foods in Japan" JICA研修「食品安全行政」コース (2023.9.28)

柴田識人, 「遺伝子組換え食品の安全性」国立保健医療科学院食品衛生危機管理コース (2023.10.6)

畠山智香子, 「食の安全と薬学」, 東北大学薬学部 (2023.6.9)

畠山智香子, 「リスクアナリシスによる食品の安全性確保」, 日本健康・栄養食品協会2023年度 食品保健指導士養成講習会 (2023.5.30)

畠山智香子, 「食品中化学物質のリスク評価」, 東京農業大学 (2023.10.5, 2023.10.12)

畠山智香子, 「食品中化学物質のリスク評価について」, 国立保健医療科学院食品衛生危機管理研修 (2023.10.10)

畠山智香子, 「ほんとうの『食の安全』を考える」, 宮城大学食産業学部 (2023.12.11)

畠山智香子, 食品中化学物質のリスクの考え方, 消費者庁主催地方公共団体等食品安全担当職員研修会 (2024.3.13)

渡邊敬浩, 「国際対応に必要な分析の基礎知識」, 厚生労働省2023年度食品安全行政の国際化研修 (2023.9.21)

渡邊敬浩, 「分析の目的と実行－サンプリング－」, 厚生労働省2023年度食品安全行政の国際化研修 (2023.9.22)

渡邊敬浩, 「分析の目的と実行－分析法への要求と分析結果の品質保証－(業務管理要領の改訂・測定の不確かさ)」, 厚生労働省2023年度食品安全行政の国際化研修 (2023.9.26)

窪田邦宏, 「安全情報部」, 令和5年度厚生労働省新人獣医研修 (2023.4.19)

窪田邦宏, 「安全情報部」, 令和5年度厚生労働省インターンシップ1回目 (2023.9.4)

窪田邦宏, 「安全情報部」, 令和5年度厚生労働省インターンシップ2回目 (2023.9.11)

窪田邦宏, 「食品安全情報と食品媒介感染症被害実態の推定」, 国立保健医療科学院令和5年度食品衛生危機管理研修 (2023.10.11), 国立保健医療科学院

登田美桜, 「Food safety risk analysis」, 北海道大学大学院農学研究院 (2023.7.7)

登田美桜, 「食品衛生学：自然毒による食中毒」, 千葉県立保健医療大学 (2023.11.28)

花尻(木倉)瑠理, 「医薬品と乱用薬物, 1.乱用薬物について」, 千葉大学衛生薬学ⅡA講義 (2023.5.22)

花尻(木倉)瑠理, 「医薬品と乱用薬物, 2.危険ドラッグはなぜ危険なのか」, 千葉大学衛生薬学ⅡA講義 (2023.5 On-demand)

花尻 (木倉) 瑠理, 「違法薬物による健康被害を防ぐための薬学」星薬科大学司法と薬学講義 (2023.6 On-demand)

花尻 (木倉) 瑠理, 「医薬品と乱用薬物」東京大学大学院基礎薬科学特論講義 (2023.6.13)

花尻 (木倉) 瑠理, 「法規制薬物と植物」, 日本薬剤師研修センター・漢方薬・生薬研修会講義 (2023.12.10)

荒川憲昭, 「医薬品開発とバイオマーカー」, 東北大学薬学部新薬開発論講義 (2023.11.13)

青木良子, 「新興感染症 (COVID-19) 治療薬・ワクチン開発の現状と課題」, 東京大学薬学部衛生化学講義 (2023.5.23)

青木良子, 「感染症薬の安全性情報」, 東北大学薬学部感染症学講義 (2023.11.30)

田中庸一, 佐井君江, 花尻瑠理, 「Scientific insights about ethnic factors」, PMDA-Asia Training Center Multi-Regional Clinical Trial Seminar 2024 (2024.1.23)

平林容子, 「化学物質など外来異物に対する生体応答学 (毒性学)」, 横浜市立大学医学部 特別講義 (2023.6.6)

五十嵐智女, 「生物学特殊講義 4 (安全性関係)」, 中央大学理工学部生命科学科 (2023.4.15)

大久保佑亮, 「リアルタイム発光法を用いた胚発生を制御するシグナル伝達のかく乱検出による催奇形性評価法の開発」, 愛媛大学大学院特別講義 (2023.4.26)

栗形麻樹子, 「ヒトの時間生物学; 心血管系」, 昭和大学医学部 2 学年講義 (2023.7.10)

栗形麻樹子, 「ヒトの時間生物学; 頭・頸部の発生と先天異常」, 昭和大学医学部 2 学年講義 (2023.7.12)

大久保佑亮, 「発生生物学」, 横浜国立大学 (2023.7.19)

Ono R, 「Cell-free DNA Methylation and Extracellular Vesicle associated microRNAs from Liquid Biopsy as Biomarkers corresponding to Prior Toxin Exposure」, 国立台湾大学 特別講義 (2023.7.21)

北嶋聡, 「毒性学分野における獣医師の重要性と最先端毒性研究の紹介」, 東京大学農学部獣医学専修 毒性学実習 特別講義 (2023.12.18)

横田理, 「生殖細胞の発生・分化と化学物質毒性」, 熊本大学大学院生命科学研究部大学院講義 熊本 (web) (2024.2.5)

山崎大樹, 「ヒトiPS心筋細胞の創薬応用と新規*in vitro*試験法におけるヒト外挿性」, 名古屋市立大学医学部薬理学講義 (2023.4.21)

山崎大樹, 「小胞体カチオンチャネルの心臓における機能的役割の解明を目指して」, 名古屋市立大学医学部薬理学セミナー (2023.4.21)

山崎大樹, 「ヒト三次元心筋組織を用いた収縮評価法と*in vivo*データとの橋渡し」, 名古屋市立大学医学部 薬理学セミナー (2023.4.21)

山崎大樹, 「医薬品の心臓安全性評価法とヒトiPS心筋細胞の創薬応用」, 北里大学薬学部 薬理・薬物学特論 (2023.5.24)

川岸裕幸, 「心筋の機能解析」, 信州大学大学院総合医理工学研究科 器官・組織・細胞機能研究方法特論 (2023.6.14)

山崎大樹, 「MPSを含む新規培養器・培養基材の開発加速に必要な性能評価研究」, 第53回Tonomachi café (2024.3.27)

小川久美子, 「環境中化学物質の安全性評価」, 名古屋市立大学大学院医学研究科 毒性病理学特論 (2023.7.20)

小川久美子, 石井雄二, 豊田武士, 高須伸二, 松下幸平, 赤根弘敏, 赤木純一, 畝山瑞穂「食の安全性確保における病理学の役割」, 武庫川女子大学インターンシップ (2023.10.2~6)

小川久美子, 「レギュラトリーサイエンスにおける病理学の役割」, 名古屋市立大学大学院インターンシップ (2023.11.10)

津田雅貴, 「生命理学概論」, 広島大学大学院統合生命科学研究科 (2023.5.29)

杉山圭一,「ゲノム安全学」,大阪大学大学院薬学研究科
レギュラトリーサイエンス特別講義 (2023.6.16)

津田雅貴,「放射線と自然科学」,広島大学教養教育
(2023.6.19)

井上薫,「リスクアセスメント・リスクマネジメント」
(オンデマンド動画配信),第26回日本毒性学会基礎教育
講習会 (2023.4.24~2023.11.2)

井上薫,「化学物質等安全性評価学<レギュラトリーサイ
エンス講座>」(録画ビデオ配信),大阪大学大学院薬
学研究科 (2023.7.14)

山田隆志,「ヒト健康影響に関連したQSARとリードア
クロス・最新動向」,令和5年度QSAR/リードアクロ
ス講習会 (2023.10.11)

2. 講演

吉田寛幸,「吸入剤の適正評価に向けた国内外の行政的
アプローチ」,日本薬剤学会第38年会 (2023.5.16)

吉田寛幸,「複雑な後発医薬品の評価に向けた国内外の
行政対応」,第13回レギュラトリーサイエンス学会学術
大会 (2023.9.9)

吉田寛幸,「医薬品の品質確保に向けた国立医薬品食品
衛生研究所の取り組み」,長崎県令和5年度ジェネリッ
ク医薬品の使用促進に係る研修会 (2024.3.13)

小出達夫,「医薬品の品質評価におけるデータサイエン
スの活用」,第24回製剤機械技術シンポジウム
(2023.12.1)

小出達夫,「Q1/Q5C EWG: 医薬品の安定性試験ガイ
ドラインの改訂」,第48回ICH即時報告会 (2023.12.20)

坂本知昭,「ICH Q9/Q9(R1) ガイドライン 品質リ
スクマネジメント解説」,2023年度 製造・品質管理/品
質保証・薬事(品質)エキスパート研修講座 ④ 治験
薬, 医薬品の品質保証に関わる規制 (ICH, GXP)
(2023.10.24)

坂本知昭,「ICH Q9(R1) IWG: 品質リスクマネジメ
ントに関するガイドラインの改訂」,ICH即時報告会
(2023.12.20)

坂本知昭,「原薬連続生産への導入を指向した評価系開
発研究と今後の展開について」,レギュラトリーサイエ
ンス エキスパート研修会 専門コース(第290回)原薬
連続生産の現状,課題及び将来の展望 -次世代の高効
率原薬製造方法の更なる推進に向けて- (2024.2.20)

坂本知昭,「ICH Q9(R1) 品質リスクマネジメント」,
日本防菌防黴学会 第39回GMPとバリデーションをめぐ
る諸問題に関するシンポジウム (2024.3.5)

坂本知昭,佐々木哲朗,「流通医薬品の品質確保に向け
たテラヘルツ分光法を用いた医薬品の品質評価手法の開
発」,令和5年度生体医歯工学共同研究拠点成果報告会
(2024.3.8)

佐々木哲朗,坂本知昭,大塚誠,「テラヘルツレーザ
ー分光測定による医薬品分析」,令和5年度生体医歯工学
共同研究拠点成果報告会 (2024.3.8)

阿部康弘,「DDS製剤の規制動向と品質評価技術」,創
剤・製剤技術研究コンソーシアム2023年度第4回研究会
(2023.12.15)

柴田寛子: AQB DについてのAMED研究班からの成果
解説.

レギュラトリーサイエンス・エキスパート研修会 ICH
Q2(R2)「分析法バリデーション(改)」,及びQ14「分
析法の開発」ガイドラインのStep2案の解説 -効率的
な活用に向けて- (2023.4.18)

柴田寛子: ICH Q2(R2)/Q14-分析法開発/分析法バリ
デーション改定,第48回ICH即時報告会 (2023.12.20)

石井明子: 医薬品の品質をめぐる最近の話題 ~承認事
項の在り方について~.

日本製薬工業協会 薬事委員会 第36回薬事制度部会総会
(2024.1.15)

石井明子: エクソソーム製剤の有効性・安全性確保のた
めの品質管理における課題.

第8回 再生医療産学連携シンポジウム (2024.1.25)

石井明子: バイオ医薬品・バイオシミラーの品質と規制.
レギュラトリーサイエンスエキスパート研修会 2023年
度 バイオ医薬品等に関する品質関連研修講座
(2024.1.30)

石井明子, 西村仁孝, 山元智史, 橋井則貴: EV製剤の品質安全性確保の課題: レギュラトリーサイエンスの観点から.

一般社団法人動物再生医療推進協議会勉強会 (2024.2.16)

石井明子: バイオ医薬品・バイオシミラーの品質安全性確保と最近の話題.

令和5年度 富山県薬事総合研究開発センター研究成果発表会・講演会 (2024.2.27)

石井明子: バイオ医薬品の免疫原性予測・評価法に関するレギュラトリーサイエンス研究.

第124回鳥取大学染色体工学研究センターセミナー (2024.2.29)

石井明子: Overview of recent JP activities for biological products.

USP-PMDA バイオ医薬品の品質管理に関するワークショップ (2024.3.1)

橋井則貴: Multi-Attribute Method (MAM) に関する研究.

USP-PMDA バイオ医薬品の品質管理に関するワークショップ (2024.3.1)

柴田寛子: ICH Q2 (R2)/Q14ガイドラインについてレギュラトリーサイエンスWEB学会シンポジウム~ICH Q2 (R2)/Q14ガイドラインと分析法のライフサイクルマネジメント~ (2024.3.5)

柴田寛子: バイオ医薬品製剤中の不溶性微粒子評価法. 創薬基盤推進研究事業 研究成果発表会 (2023.3.13)

原園景: インタクト分析を利用したバイオ医薬品の品質評価法.

創薬基盤推進研究事業 研究成果発表会 (2023.3.13)

日向昌司: LC/MSを用いた宿主細胞由来タンパク質の評価法.

創薬基盤推進研究事業 研究成果発表会 (2023.3.13)

橋井則貴: 抗体薬物複合体の新規薬物分析法の開発と標準化.

創薬基盤推進研究事業 研究成果発表会 (2023.3.13)

石井明子: 先端的バイオ医薬品の最適な実用化促進のた

めのCMC分野における創薬基盤技術の高度化に関する研究.

創薬基盤推進研究事業 研究成果発表会 (2023.3.13)

Ito M, 「Quality assurance for pharmaceuticals derived from natural products and their regulatory scientific studies in Japan」, IAGG Asia/Oceania Regional Congress 2023 (2023.6.13)

伊藤美千穂, 「桂皮をめぐるエトセトラー薬理の話・産地の話」, 蘭越町町民セミナー (2023.7.24)

Ito M, 「Japanese Pharmacopoeia (JP), and Japanese standards for Non-Pharmacopoeial Crude Drugs (Non-JP Crude Drug Standards)」, PMDA-ATC Kampo seminar (2023.8.22)

Ito M, 「Approval standards for OTC Kampo and crude drug products」, PMDA-ATC Kampo seminar, (2023.8.22)

Ito M, 「Quality assurance for pharmaceuticals derived from natural products and their regulatory scientific studies」, 中国NIFDC-NIHS Meeting (2023.10.19)

伊藤美千穂, 「日局とその周りの生薬に関する最近の話題」, 令和5年度日本生薬学会関西支部秋期講演会 (2023.10.20)

伊藤美千穂, 「においては薬になりますか」, 京都大学エグゼクティブリーダーシッププログラム (2023.10.28)

伊藤美千穂, 「生薬行政の最近のトピックス」, 第38回生薬に関する懇談会 (2023.11.12)

伊藤美千穂, 「日本薬局方第18改正第2追補の改正予定内容についてー生薬等に関わりそうなところを中心に」, 第51回生薬分析シンポジウム (2023.12.8)

丸山卓郎, 河野徳昭^{*1}, 横倉胤夫^{*2}, 山本豊^{*3}, 吉田雅昭^{*4}, 白鳥誠^{*5}, 山田修嗣^{*6}, 川原信夫^{*7}, 小松かつ子^{*8}, 伊藤美千穂, 「トシシ (菟絲子) の局外生規収載の検討について (2)」, 第51回生薬分析シンポジウム (2023.12.8)

^{*1} (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センター

- *² 日本粉末薬品（株）
- *³ 栃本天海堂（株）
- *⁴ 小太郎漢方製薬（株）
- *⁵ ウチダ和漢薬（株）
- *⁶ アルプス薬品工業（株）
- *⁷ 高知県立牧野植物園
- *⁸ 富山大学和漢医薬学総合研究所
- 丸山卓郎, 「生薬の基原と品質標準化」, 第48回白金シンポジウム特別講演 (2023.12.12)
- 伊藤美千穂, 「にのいの規格をつくるーにのいは薬になりますかー」, 第50回Tonomachi Café (2024.2.15)
- Ito M, 「Country report of Japan」, Western Pacific Regional Forum for the Harmonization of Herbal Medicines (FHH) Annual meeting (2024.3.6)
- 伊藤美千穂, 「天然物医薬品とそのまわりの規制科学」, 日本薬学会第144年会シンポジウムS22 (2024.3.29)
- Yasuda S, 「ddPCR assay to detect residual iPSCs-Step 1 & Step 2 Arm-1 study」, HESICT-TRACS Committee Annual Meeting 2023 (2023.10.5)
- Yasuda S, 「IL-2 independent cell growth assay to detect transformed cells in T cell products」, HESICT-TRACS Committee Annual Meeting 2023 (2023.10.5)
- 三浦巧, 「細胞製品製造における品質の同等性・重要品質特性」, 第20回医薬品レギュラトリーサイエンスフォーラム (2023.11.27)
- 河野健, 「ウイルス安全性評価における次世代シーケンサーの性能評価について」, 第24回医薬品等ウイルス安全性シンポジウム (2024.2.3)
- 河野健, 「プタ内在性レトロウイルスのヒト細胞感染性評価法の開発」, 第26回日本異種移植研究会 (2024.2.17)
- 井上貴雄, 「乱立するモダリティの中で核酸医薬はどうあるべきか」, バイオインベストメントギルドセミナー「核酸医薬開発の停滞を破る鍵ーアンチセンスDNAを中心ー」 (2023.5.12)
- 井上貴雄, 「核酸医薬およびmRNA医薬の品質・安全性確保に向けた取り組み」, 第3回令和の薬剤学を考える懇談会 (第58回薬剤学懇談会研究討論会) (2023.6.23)
- 井上貴雄, 「核酸医薬開発の現状と今後の展望」, 第5回ファーマラボEXPO (2023.7.5)
- 山本武範, 「アデノ随伴ウイルス (AAV) ベクターを用いた遺伝子治療用製品に関する規制動向と国立衛研における取り組み」, 第47回動物細胞工学シンポジウム (2023.7.21)
- 井上貴雄, 「核酸医薬の開発動向と規制整備に向けた取り組み」, PHARM TECH JAPAN ONLINE WEBセミナー「核酸医薬の現状と今後の展望」 (2023.8.1-8.8)
- 井上貴雄, 「動物試験で検出困難な毒性を予測するオフターゲット評価法に関する研究」, 質量分析フォーラム2023第1回 (2023.8.2)
- 井上貴雄, 「動物試験で検出困難な毒性を予測するオフターゲット評価法に関する研究」, 質量分析フォーラム2023第2回 (2023.8.9)
- 山本武範, 「mRNA医薬の品質評価手法に関する研究」, 日本薬学会関東支部 第48回学術講演会 (2023.10.14)
- 井上貴雄, 「次世代モダリティの安全性評価」, 日本安全性試験受託研究機関協議会 定期講演会 (2023.11.10)
- 井上貴雄, 「核酸医薬の現状と展望」, 東京医科歯科大学医歯薬産業技術セミナー (2023.11.14)
- 井上貴雄, 「核酸医薬への期待と課題ー安全性評価と薬物動態評価ー」, 薬物動態談話会第46年会 (2023.11.16)
- 山本武範, 「mRNA医薬の品質評価法に関する規制科学研究」, 理研セミナー (2023.11.17)
- 井上貴雄, 「mRNA医薬の現状と今後の展望」, LINK-J セミナーー日本発のmRNA医薬・ワクチンの実現へー (2023.11.21)
- 山本武範, 「遺伝子治療用製品等の概要と規制動向」, レギュラトリーサイエンス エキスパート研修会 (2023.12.7)
- 井上貴雄, 「核酸医薬／mRNA医薬の品質・安全性・薬

物動態評価」, JBA創薬モダリティ基盤研究会講演会 (2023.12.11)

吉田徳幸, 「核酸医薬品の安全性確保に向けた取り組み」, 東京大学大学院工学系研究科 化学生命工学専攻 Monthly Guest Talk (2023.12.13)

内田恵理子, 「遺伝子治療用製品等の品質管理」, 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団 2023年度バイオ医薬品等に関する品質関連研修講座 (2024.2.1)

井上貴雄, 「タンパク質分解医薬の開発動向と安全性評価に関する考察」, 安全性評価研究会 2024年第29回冬セミナー ～次世代モダリティー標的タンパク質分解誘導剤開発への挑戦～ (2024.2.3)

井上貴雄, 「動物試験で検出困難な毒性を予測するオフターゲット評価法の確立」, 創薬基盤推進研究事業研究成果発表会 (2024.3.13)

井上貴雄, 「核酸医薬開発の現状と安全性確保に向けた取り組み」, 第4回ファーマラボEXPO (2024.3.14)

山本栄一, 「AI等利用プログラム医療機器における薬事上の課題について」, レギュラトリーサイエンス学会WEBシンポジウム (2023.5.16)

山本栄一, 「再製造単回使用医療機器の推進と今後の展望-R-SUDを知ってもらいたい」, 第98回日本医療機器学会大会 (2023.6.30)

山本栄一, 「ニトロソアミン高感度分析法」, 日本環境変異原ゲノム学会ICH M7/QSARワークショップ2023 (2023.10.23)

山本栄一, 「医療機器分野における動物実験代替法の開発状況と今後の展望」, 日本動物実験代替法学会第36回大会 (2023.11.27)

山本栄一, 「多様な創薬モダリティに対応する人工知能等の情報処理技術を駆使した品質評価法の開発に関する研究」, 日本粉体工業技術協会粒子加工分科会 (2024.2.20)

山本栄一, 「ナノ粒子の物理的・化学的特性評価法の高度化検討」, 日本薬学会第144年会 (2024.3.29)

野村祐介, 「医療機器分野におけるExtractablesとLeachablesの安全性評価」, 第50回日本毒性学会学術年会 (2023.6.19)

野村祐介, 「脱細胞化組織を利用した医療機器の評価指標作成事業」, 第61回日本人工臓器学会大会 (2023.11.11)

野村祐介, 「動物実験代替法にも利用可能な感作性試験用陽性対照材料の開発」, 日本動物実験代替法学会第36回大会 (2023.11.28)

岡本悠佑, 「化学分析を利用した動物実験代替法」, 日本動物実験代替法学会第36回大会 (2023.11.28)

宮島敦子, 「皮膚感作性試験動物実験代替法の開発」, 日本動物実験代替法学会第36回大会 (2023.11.28)

加藤玲子, 「医療機器の再構築ヒト表皮モデルを利用した刺激性試験動物実験代替法の国内外の現状」, 日本動物実験代替法学会第36回大会 (2023.11.28)

中岡竜介, 「人工知能技術を利用した医療機器の社会実装に向けて」, 第3回 Tonomachi Outreach Communication (2023.11.17)

中岡竜介, 「生物学的安全性評価における動物実験代替法の国際標準化動向」, 日本動物実験代替法学会第36回大会 (2023.11.28)

中岡竜介, PMDA主催ISOエキスパート意見交換会 (2024.1.22)

植松美幸, 「再使用可能および再製造医療機器の清浄性評価における新規残留タンパク質回収・定量法」, 第98回日本医療機器学会大会 (2023.6.30)

小林憲弘, 「水道水質検査の最新情報: 告示法・通知法の改正と今後の展望」, 水道水質分析ウェビナー2023 (2023.4.25)

小林憲弘, 「水道水質検査の最前線」, 水道水質分析セミナー2023 (2023.5.17)

小林憲弘, 「水道水質検査におけるスクリーニング分析法の実運用化に向けた取り組み」, 環境科学会2023年会シンポジウム「水道水質検査におけるスクリーニング分析法の実運用化の現状と課題」 (2023.9.8)

酒井信夫, 「室内空气中化学物質の規制に関する最新情報」, 第60回全国衛生化学技術協議会年会 (2023.11.10)

小林憲弘, 「水道水質基準と検査方法に関する最新情報」, 第60回全国衛生化学技術協議会年会 (2023.11.10)

河上強志, 「家庭用品規制法の試験法改正状況と今後の動向について」, 第60回全国衛生化学技術協議会年会 (2023.11.10)

河上強志, 「家庭用品の安全性確保の取り組みと実際の健康被害症例の紹介」, 令和5年度神奈川県衛生研究所公開セミナー学術講演 (2023.11.30)

河上強志, 「家庭用品規制法の現状や健康被害事例について」, 令和5年度衛生理化学分野研修会 (2024.1.23)

小林憲弘, 「水道水質検査方法の開発と実態調査に関する最近の動向」, 令和5年度化学物質環境実態調査環境科学セミナー (2024.1.30)

小林憲弘, 「令和6年度の厚生労働省精度管理調査について (実施細則)」, 令和5年度水道水質検査精度管理に関する研修会 (2024.2.7)

小林憲弘, 「水道水質検査方法と精度管理に関する最近の話題」, 令和5年度飲料水検査精度管理調査に関する研修会 (2024.3.4)

小林憲弘, 「水道水質基準と検査方法の改正に関する最新情報」, 令和5年度神奈川県水道水質検査機関技術研修会 (2024.3.14)

鈴木美成, 「有害化学物質の食事性曝露量推定における確率論的アプローチ」, 令和5年度国立医薬品食品衛生研究所シンポジウム (2023.8.23)

志田 (齊藤) 静夏, 「残留農薬検査における課題と展望 - 検査部位の国際整合化, 試料調製法及び抽出法について -」, 第21回食品安全フォーラム (2023.12.8)

高橋未来, 「PFASに関する背景と現状について」, 第4回日本食品衛生学会北海道・東北ブロックセミナー (2024.2.22)

Sugimoto N, 「A new approach to obtain accurate quantitative values by qNMR and chromatography」,

International Symposium in Okinawa, 2023, on Ciguatera and Related Marine Biotoxins (2023.11).

多田敦子, 「食品中の食品添加物の分析法の通知と今後について」, 第60回全国衛生化学技術協議会年会 部門別研究会食品部門 (2023.11.10)

多田敦子, 「食品添加物としての二酸化チタンの役割等について」, 日本環境変異原ゲノム学会 第52回大会, シンポジウム4: 二酸化チタンの健康影響と海外規制の動向 (2023.11.12)

多田敦子, 「食品中の食品添加物の分析法について」, 令和5年度一般社団法人食品衛生登録検査機関協会食品添加物研修会 (2024.2.29)

多田敦子, 「食品中の食品添加物の分析法について」, 西日本地区食品衛生検査機関研究協議会, 2023年度技術研修会 (2024.3.15)

建部千絵, 「食品中の食品添加物の分析法の妥当性確認ガイドライン案及びQ&A案について」, 第60回全国衛生化学技術協議会年会 部門別研究会食品部門 (2023.11.10)

建部千絵, 「食品中の食品添加物の分析法の妥当性確認ガイドライン案及びQ&A案について」, 令和5年度一般社団法人食品衛生登録検査機関協会食品添加物研修会 (2024.2.29)

建部千絵, 「食品中の食品添加物分析法の妥当性確認ガイドラインおよびQ&Aについて」, 令和5年度群馬県食品精度管理研究会 (2024.3.15)

阿部裕, 「国衛研で実施している既存添加物 (天然添加物) の規格基準設定のための研究 ~クエルセチンやコチニール色素を例に~」, 植物色素研究会 第33回大会 東京・2023 (2023.11.18)

阿部裕, 「天然添加物の品質を正しく評価するための分析技術の応用」, 日本分析化学学会 中国四国支部・鳥取地区講演会 (2023.12.1)

西崎雄三, 「 ^1H スピン情報による化学物質のデジタルリファレンススタンダード (dRS) 化: dRSを基準にしたqNMR」, 第5回日本定量NMR研究会年会 (2023.12.1)

Masumoto N, 「A new quantitative method of lutein in

foods without its analytical standard], International Workshop for "Functional Substances in Agricultural Products"(2023.11.30)

増本直子, 山崎太一, 「相対モル感度 (RMS) を用いた定量法, 室間共同試験をしてみた。」, 第5回日本定量NMR研究会年会 (2023.12.1)

Mutsuga M, 「Update on Japan's Revisions to its Food-Contact Positive Lists.」, 15th Biennial International Symposium on Worldwide Regulation of Food Packaging(2023.6.14)

六鹿元雄, 「器具・容器包装の規格基準について」, 令和5年度 一般社団法人 食品衛生登録検査機関協会 器具・容器包装研修会 (2023.11.17)

六鹿元雄, 「リサイクルPETの安全性について」(録画配信), 一般財団法人 全国清涼飲料連合会 ペットボトルリサイクルの基礎講習会 (2024.2.13~2.16)

岡田由美子, 「細菌性食中毒発生をリスクミで減らすには」, 食のリスクコミュニケーション・フォーラム2023 (2023.4.23)

岡田由美子, 「日本国内における食品からの微生物検出のための標準試験法」, NPO食の安全と微生物検査2023年度講演会 (2023.6.1)

岡田由美子, 「食中毒微生物のリスクミについて」, 令和5年度徳島県消費者大学校大学院 食品安全リスクコミュニケーション養成講座 (2023.9.12)

岡田由美子, 「食品中の微生物を検出するための国内標準試験法の策定について」, 日本食品衛生協会食品衛生研究所カンピロバクター及びサルモネラ属菌の試験法実習 (2023.12.1)

岡田由美子, 「食品中の微生物を検出するための国内標準試験法の策定について」, 令和5年度稀少感染症講習会 (2024.2.14)

大城直雅, 「シガトキシン類微量分析法の確立とシガテラ魚類中毒のリスク管理に関する研究」, 日本食品衛生学会第119回学術講演会学術貢献賞受賞者講演 (2023.10.12)

大城直雅, 「シガテラ中毒発生時の分析」, 令和5年度地方衛生研究所全国協議会近畿支部自然毒部会研究発表会 (2023.11.24)

大城直雅, 「シガテラ中毒とシガトキシン分析」, 第41回日本獣医師会獣医学術学会年次大会 (日本獣医公衆衛生学会) シンポジウム「知っておきたい海産魚介類の自然毒による食中毒」 (2023.12.2)

大城直雅, 「シガテラ中毒発生時の分析」, 地方衛生研究所全国協議会理化学部会令和5年度衛生化学分野研修会 (2024.1.23)

大西貴弘, 「水産食品におけるアニサキスの汚染状況」, ifia JAPAN 2023食の安全・科学フォーラム第22回セミナー & 国際シンポジウム「水産食品の安全性」 (2023.5.17)

工藤由起子, 「*Escherichia albertii*の汚染状況及び検査法について」, 衛生微生物技術協議会第43回研究会 (2023.7.6)

Ohnishi T, Hara-Kudo Y, 「Contamination of *Arcobacter* and *Campylobacter* species in retail foods available in Japan」, United States and Japan Conference on the Development and Utilization of Natural Resources-Joint Panel on Toxic Microorganisms(2023.8.9)

Hara-Kudo Y, Arai S, Ohnishi T, 「Emerging foodborne diseases with *Escherichia albertii* and the detection methods」, United States and Japan Conference on the Development and Utilization of Natural Resources-Joint Panel on Toxic Microorganisms(2023.8.9)

Watanabe M, Ban S, Yaguchi T, Shimizu K, Hara-Kudo Y, Yoshinari T, 「Occurrence of mycotoxins and distribution of trichothecene-producing *Fusarium* spp. on Job's tears products in Japanese retail foods」

大西貴弘, 「アニサキス食中毒と水産食品におけるアニサキス汚染状況」, 令和5年度国立医薬品食品衛生研究所シンポジウム (2023.8.23)

渡辺麻衣子, 「住宅の真菌叢の変遷～近年の住宅事情との関係」, 2023年室内環境学会学術大会 (2023.11.30)

吉成知也, 「食品中のカビ毒の国際基準に適応する分析

法の開発」第21回食品安全フォーラム（2023.12.8）

大西貴弘，「水産食品におけるアニサキス汚染状況」，日本食品衛生学会第26回シンポジウム（2024.2.16）

大西貴弘，「寄生虫による食中毒の予防対策と検査の考え方」迅速検査研究会第49回講演会（2024.3.5）

吉成知也，「日本におけるマイコトキシンの規制と試験法について」日本薬学会第144年会（2024.3.29）

出水庸介，「創薬モダリティの進化と展望」，日本薬学会第144回年会シンポジウム：がんと闘うアカデミア創薬の新挑戦（2024.3.29）

出水庸介，「中分子ペプチド医薬品のレギュレーション」，日本薬学会第144回年会シンポジウム：中分子医薬および超分子DDSの開発・評価とレギュレーションについて考える（2024.3.29）

出水庸介，「中分子ペプチド医薬品の開発の現状と将来展望」，日本薬学会第144回年会シンポジウム：中分子ペプチド医薬品の未来を拓くイノベーションとレギュレーション（2024.3.29）

出水庸介，「タンパク質分解医薬PROTACの開発の現状と将来展望」R022量子構造生物学委員会第13回研究会（2024.3.12）

出水庸介，「PROTACによるタンパク質寿命制御」，「集え，多分野研究者！」感染症キャンプin宮崎（2024.1.27）

出水庸介，「PROTACによるタンパク質寿命の制御」，第96回日本生化学会大会シンポジウム「タンパク質寿命学の創出」（2023.11.2）

辻巖一郎，「*In silico*を活用した医薬品からのN-ニトロソアミン類の生成リスク評価法」，技術情報協会セミナーNo.310106「ニトロソアミン原薬関連不純物（NDSRI）の規制動向，許容値設定と生成リスクの予測」（2023.10.30）

出水庸介，「中分子ペプチド医薬品の開発と規制の動向」山陽小野田市立山口東京理科大学創薬・育薬特別講演会（2023.9.5）

出水庸介，「ケミカルデグレーダーによるタンパク質寿

命制御」タンパク質寿命が制御するシン・バイオロジー「キックオフシンポジウム」（2023.8.7）

出水庸介，「PROTAC開発の現状と将来展望」次世代モダリティ研究会（2023.6.15）

出水庸介，「分子の匠：分子設計の美学」長崎大学薬学部薬化学講演会2023（2023.6.10）

横尾英知，「タンパク質分解誘導剤の開発研究」2023年度 東日本スクリプス会（2023.12.2）

正田卓司，「原薬連続生産の進捗と現状の概要」，レギュラトリーサイエンスエキスパート研修会（2023.2.20）

柴田識人，「ゲノム編集食品の安全性確保に向けた取り組みと課題」，令和5年度国立医薬品食品衛生研究所シンポジウム（2023.8.23）

安達玲子，「基礎から学ぶ特定原材料表示～導入の背景から新しい表示法における取扱いまで～」，日本食品衛生協会食品衛生研究所食物アレルギー検査実習（2023.9.26）

柴田識人，「遺伝子関連食品の最近の流れと問題点」，2023年度健康食品管理士会 東北支部研修会（2023.10.22）

爲廣紀正，「新開発食品の安全性評価－アレルギー誘発性－」，食の安全と安心部会第6回シンポジウム（2023.12.1）

畝山智香子，「ほんとうの『食の安全』を考える」，第19回農薬工業会作物保護に関する勉強会（2023.5.26）

畝山智香子，「PFAS：海外と日本における法規制とリスク評価の経緯」，2023年第1回SFSS食の安全・安心懇話会（2023.5.30）

畝山智香子，「健康食品の安全性と最近の問題～「健康食品のことがよくわかる本」から，第172回SRMクロスオピニオンセミナー（2023.6.29）

畝山智香子，「ほんとうの「食の安全」を考える～食品中に含まれる様々な発がん物質のリスクについて～」，令和5年度（2023年度）食と放射能に関する説明会（2023.7.24）

畝山智香子,「食品中化学物質のリスク評価について」, 消費者庁・コープ北陸事業連合食品安全コミュニケーション育成講座 (2023.7.28)

畝山智香子,「ほんとうの「食の安全」を考える～ゼロリスクという幻想～」, 毎日新聞食育セミナー (2023.7.29)

畝山智香子,「食品添加物はなぜ嫌われるのかー添加物を巡る過去・現在のリスク情報とその根拠」, 食のリスクコミュニケーション・フォーラム2023 (2023.8.27)

畝山智香子,「食品中化学物質のリスク評価について」, 甲府市食品リスクコミュニケーション養成事業 (2023.9.6)

畝山智香子,「科学的に考える!機能性表示食品」, 全国消費者団体連絡会学習会 (2023.9.13)

畝山智香子,「アスパルテームは発がん性物質か?」, 食の信頼向上をめざす会 第16回ZOOM情報交換会 (2023.9.26)

畝山智香子,「食品添加物は何故嫌われるのかー加工食品の安全性～」, 緑窓栄養士会シンポジウム (2023.10.21)

畝山智香子,「アスパルテームと砂糖・どちらが体にいいの?」, 食の信頼向上をめざす会 第17回ZOOM情報交換会 (2023.10.24)

畝山智香子,「食の安全」について考える」, 横浜市・川崎市 化学物質市民セミナー (2023.11.8)

畝山智香子,「食品添加物はなぜ嫌われるのか」, 熊本県食の安全セミナー (2023.12.5)

畝山智香子,「食の安全性とは何か」, 全日本スパイス協会技術委員会学習会 (2023.12.6)

畝山智香子,「ほんとうの食の安全を考えるー最適な品質管理のための基礎ー」, 食品品質保持研究会 (2023.12.19)

畝山智香子,「新規食品の安全性確保」, 日本分析化学会表示・起源分析技術研究懇談会 (2023.12.22)

畝山智香子,「ほんとうの「食の安全」を考える」, 山梨県・甲府市主催 消費者庁共催令和5年度「食の安全・

安心を語る会」(2024.2.9)

畝山智香子,「そもそも食品とは?」, コープゼミナール南加賀 (2024.2.14)

畝山智香子,「ほんとうの「食の安全」を考える」, 大阪いずみ市民生協府民・県民向け食の安全学習会 (2024.2.15)

畝山智香子,「本当に安全な食品とは?ー食品のリスクについて考えるー」, 仙台市健康福祉局生活衛生課 市民向け講演会 (2024.2.21)

渡邊敬浩,「食品検査に必要なサンプリング, 分析, そして品質保証ーISO/IEC 17025に基づく業務管理要領の改訂とその実行ー」, 令和5年度食品衛生検査施設信頼性確保部門責任者等研修会 (2023.6.30)

渡邊敬浩,「食品衛生検査施設における検査の実施に必要な取組についてー業務管理要領の改正を機に考えるー」, 特別区職員研修所令和5年度専門研修「検査技術」 (2023.9.29)

渡邊敬浩,「食品分析における国際標準の品質保証ー業務管理要領の改訂についてー」, 第21回食品安全フォーラム (2023.12.8)

登田美桜,「動物性自然毒による食中毒の発生動向について」, 令和5年度地方衛生研究所全国協議会近畿支部自然毒部会 (2023.11.24)

登田美桜,「自然毒による食中毒の発生動向について」, 令和5年度地方衛生研究所東海・北陸ブロック会議 (2023.12.12)

花尻(木倉)瑠理,「危険ドラッグの流通実態と規制の現状」, 第53回日本神経精神薬理学会年会シンポジウム (2023.9.7)

Ruri Kikura-Hanajiri, Investigation on reduced forms or acetyl derivatives of tetrahydrocannabinol(THC) analogues distributed on the internet in Japan. UNODC/ENFSI/AFSN/US-DEA Forensic Science Symposium 2023(2023.10.12, Online)

花尻(木倉)瑠理,「法規制薬物と植物」, 薬用植物フォーラム2023 (2023.10.17)

Arakawa N, 「SomaScan-based discovery and clinical application of new biomarkers for interstitial lung disease」, SomaLogic User Group Meeting Tokyo (2023.10.19)

西村拓也, 「医薬品承認審査における非臨床安全性評価の変遷」, 第93回日本獣医史学会研究発表会 (2023.4.22)

高橋祐次, 「動物実験代替法の進展から見た動物実験の今後の在り方 - *in vivo* 毒性試験の経験からの考察 - 」, 実験動物管理者等研修会 (厚労省主催) (2024.2.8)

佐藤薫, 「脳血管を知ろう～ウィズコロナ時代を健やかに～」, 第13回 CSJ Chemistry Festa (2023.10.10)

諫田泰成, 「ワクチン・アジュバントの安全性評価」, 第2回近未来ワクチンフォーラム (2024.1.23)

諫田泰成, 「医療を加速するレギュラトリーサイエンス」, 徳島文理大学薬学部学術講演会 (2024.2.26)

山崎大樹, 「IVIVEとヒト細胞資源の活用による安全性評価技術のヒト予測性向上」, 令和5年度日本医療研究開発機構研究費 創薬基盤推進研究事業 研究成果発表会 (2024.3.13)

小川久美子, 「食薬区分の毒性学的検討課題等について」, 日本食品化学学会第39回食品化学シンポジウム (2023.11.17)

小川久美子, 「化学物質の安全性評価における被験物質分析の意義と課題」, 日本分析化学会中部支部講演会 (2024.1.31)

Shihori Tanabe, 「Concept of Umbrella Key Events (KEs) for Creating Harmonized Representative ROS-related KEs」, AOP-Wiki 3.0 Idea Generation and Discussion Workshop: Europe and Asia (2023.8.16)

山田隆志, 「*In silico*予測手法の高度化とNew Approach Methodologyの活用に基づくヒト健康リスク評価の効率化・迅速化を目指して」, シンポジウム [リスク評価手法の現状と今後], 2023年日化協LRI研究報告会 (2023.8.25)

大野彰子, 「ナノマテリアルの生体影響：国際的な安全性評価への取り組み」, 日本薬剤学会 ビジネスエコ創剤FG 日本薬剤学会ビジネスエコ創剤FGセミナー2023年度「未来医療と医薬エコシステム」 (2024.2.16)